

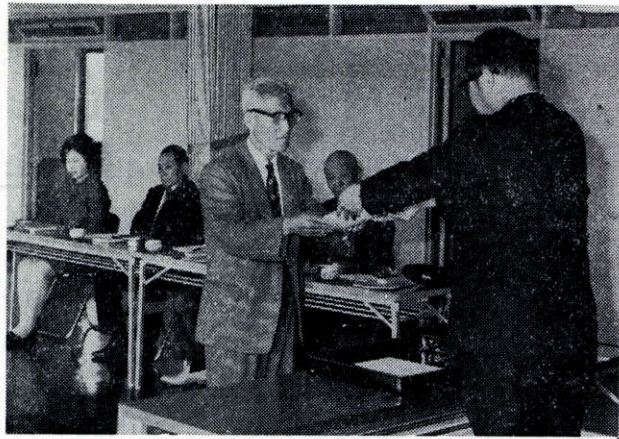
# 上野児一さん等を

## 油谷町交通指導員に任命

みなさんの交通安全を願って、このほど制定された「油谷町交通指導員設置条例」にもとづき、次の五名の方が、油谷町交通指導員に任命されました。

- 大坊 上野 児一（六三才）
- 山根 久保 正二（六一才）
- 小田 辻永 嘉憲（三三才）
- 大和 神田 利人（五二才）
- 川尻 上永 悦子（三〇才）

指導員のみなさんは今後毎月三日、一三日、二三日（これ等の日が日曜祭日等で休校の場合はその翌日）に、町内で比較的交通のほげしい交差点や、通学通園路で、学童や園児の安全、歩行者の交通指導に当たっていただくこととなります。



みなさんも交通規則を守り事故のない町造りにご協力を  
写真は辞令の交付を受ける  
上野さん。

### ぜひ交通共済への加入を

最近特に交通事故が増えておりことしになって町内で発生した事故は七六件で、ケガをされた方が三一人ありましたが、交通災害共済に加入されていて、見舞金を受けられた方は、わずかに七人でした。交通事故は思わぬところで起きています。これをただの災難としてあきらめることは残念なことです。万一に備えて家族全員交通災害共済に加入しましょう。

### 交通事故相談日

毎月町役場で開かれます。交通事故相談日。次のおり変わりました。これまで毎月第三金曜日でしたのが、毎月

### 青空駐車が禁止されます

油谷町においては二月一日から、普通車以上の車で、新規登録、変更登録、移転登録をする場合には、車の保管場所を設け、かつそのことについて警察署長の証明書（いわゆる車庫証明）がなければ車を置くことができなくなりました。また軽三輪以上すべての車についても、法律により、道路を保管場所がわりに使用する。いわゆる青空駐車が禁止されます。

これに違反したものは三か月以下の懲役又は三万円以下の罰金に処せられます。  
※自動車保管場所の事務手続は山口県自動車協会の調査員が駐在（長門市深川養鶏農業協同組合内に事務所があります）して行なっております。

第二木曜日に変更しました。ご利用下さい。

### 狩猟事故をなくしよう

ことしも一月一日から狩猟がはじまります。この狩猟期間中にちよつとした不注意で尊い人命をなくしたり、大けがをする等、とにかえしのつかない事故が毎年発生しています。

- これらの事故の原因は、銃の取扱いが不注意によるもの。
- 目的物の確認不足によるもの。
- 等がほとんどで、ハンターとしてのマナーをまもり、注意をすれば防ぐことのできるものです。
- 痛ましい事故を防ぐために、次のことを必ずまもり事故防止に努めて下さい。
- 狩猟に出る前に銃の点検を十分に、タマが入っていないことを確認する。
- 団体に狩猟をするときは、目につきやすい服装を。
- 銃をはこぶときは必ずケースに入れる。
- 狩猟から帰ったらタマが入っていないかを確かめ、手入れをすまし保管庫に施錠して保管する。
- また、タマや火薬類は銃とは別のところに施錠して保管する。

長門警察署

（二）一月の祝日は三日文化の日、二三日勤労感謝の日です

### 乳戸（〇才児）の公費負担制度の実施に伴う、受診者証の交付申請について

この制度の対象となる方は、出生届と同時に忘れずに受診者証の交付申請を住民課福祉係にして下さい。

なお現在、資格該当者の方にはお知らせしてありますが、手続のすんでいない方があります。早急に手続をすまして下さい。

### 県の施設案内の実施に伴う参加者の募集について

県では、県の施設等をご案内して、県政に対してご理解を深めていただくとともに、ご意見や要望をお聞きするため、次の要領で県の施設案内を実施します。参加を希望される方は至急お申込み下さい。

- 一、日時 一月三〇日（金）午前九時から午後三時五〇分まで
- 二、県の貸切バスで案内する施設
- (1) 油谷町大坊治水ダム建設現場
- (2) 長門市外海水産試験場
- 三、集合時刻及び場所
- 午前九時 油谷町役場
- 四、参加資格
- 二〇才以上の方で申込み先着順五〇名限り
- 五、申込みの方法
- ハガキに住所、氏名、性別、年齢、職業を明記して「山口市滝町一―山口県庁広報課施設案内係」宛、来る一月二〇日までに必着するようお申込み下さい。
- 六、その他、当日の朝食は県で用意します。解散は長門市駅前、参加が決定した方へは、本人宛に県より通知します。

山口県広報課

### 油谷町めぐり (つ)

#### 二本松経塚移転完了

村田 菊雄

昨年一月一日発行の油谷の灯昔ばなしその四で、二本松経塚についての終りに「大坊川ダムの湖畔をお通りの節は、この経塚がみなさんのお目にとまるようになると思います」と述べましたが、写真のように、二本松の東側の展望台へ、去る九月二十九日に移転工事を完了しました。

塚石の下に積み重ねてある石は口屋番所くちやばんしょのあった所の石垣の石です。

この経塚は四二年四月六日中本源次さんが発見され、このたびの移転事業は、郷土文化会が推進してきましたが、ダム工事事務所のみなさん、フジタ工業、観光協会森林組合、河原山林会、油谷ロータリークラブ、町ならびに町教委による資金的な援助、労力を提供されました有吉、安部さんのご厚意等にさくえられて実現いたしました。厚くお礼申し上げます。

この地をお通りになる方には私たちの祖先の哀史と、永年住みなれた故郷を離れて行かれたみなさんの心中をご想像いたさげば幸いです。

